

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 26 日 (2015.3.26)

【公表番号】特表 2014-505151 (P2014-505151A)

【公表日】平成 26 年 2 月 27 日 (2014.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2014-011

【出願番号】特願 2013-552936 (P2013-552936)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/12 C E Y A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 4 日 (2015.2.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも部分的に中和されていてよい、少なくとも 1 種のエチレン性不飽和の酸基含有モノマー、

b) 少なくとも 1 種の架橋剤、

c) 少なくとも 1 種の開始剤、

d) 任意に、a) に記載のモノマーと共重合可能な 1 種以上のエチレン性不飽和モノマー及び

e) 任意に 1 種以上の水溶性ポリマー

を含むモノマー溶液又はモノマー懸濁液を重合し、ここで、得られたポリマーゲルを乾燥、粉碎及び分級し、その際、ポリマー粒子を $m \sim n$ (μm) の範囲の粒径に分級し、 m は $50 \sim 300$ の範囲の数値を意味し、かつ n は $400 \sim 1,200$ の範囲の数値を意味し、これらの分級されたポリマー粒子を、

f) 少なくとも 1 種の表面後架橋剤及び

g) 任意に少なくとも 1 種の多価金属カチオン

でコーティングし、かつ熱により表面後架橋することによって、高い膨潤速度を有する吸水性ポリマー粒子を製造する方法において、該熱による表面後架橋の後の吸水性ポリマー粒子の湿分含有率を $1 \sim 150$ 質量% 高め、かつ該吸水性ポリマー粒子を引き続き乾燥することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記熱による表面後架橋の後の前記吸水性ポリマー粒子の湿分含有率を $10 \sim 25$ 質量% 高めることを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記湿分含有率を高めた後の前記吸水性ポリマー粒子を 150 未満の温度で乾燥することを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記湿分含有率を高めた後の前記吸水性ポリマー粒子を 10 質量% 未満の湿分含有率まで乾燥することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記乾燥、粉碎及び分級したポリマーゲルを、前記表面後架橋剤 f) $0.05 \sim 0.2$

質量%でコーティングすることを特徴とする、請求項1から4までのいずれか1項記載の方法。

【請求項6】

前記乾燥、粉碎及び分級したポリマーゲルを、前記多価金属カチオン $g) 0.02 \sim 0.8$ 質量%でコーティングすることを特徴とする、請求項1から5までのいずれか1項記載の方法。

【請求項7】

前記湿分含有率を高める前の前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $100 \times 10^{-7} \text{ cm}^3 \text{ s} / \text{ g}$ の液体誘導性及び少なくとも60秒のVortex法による吸収速度(Vortex)を有することを特徴とする、請求項1から6までのいずれか1項記載の方法。

【請求項8】

前記湿分含有率を高める前の前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $15 \text{ g} / \text{ g}$ の遠心分離保持容量を有することを特徴とする、請求項1から7までのいずれか1項記載の方法。

【請求項9】

前記モノマーa)がアクリル酸であることを特徴とする、請求項1から8までのいずれか1項記載の方法。

【請求項10】

請求項1から9までのいずれか1項記載の方法に従って得られる吸水性ポリマー粒子。

【請求項11】

i) 少なくとも部分的に中和されていてよい、少なくとも1種の重合したエチレン性不飽和の酸基含有モノマー、

ii) 少なくとも1種の重合した架橋剤、

iii) 任意に、i)に記載のモノマーと共重合した1種以上のエチレン性不飽和モノマー、

iv) 任意に1種以上の水溶性ポリマー、

v) 少なくとも1種の反応した表面後架橋剤及び

vi) 任意に少なくとも1種の多価金属カチオン

を含む、高い膨潤速度を有する非凝集吸水性ポリマー粒子であって、その際、該吸水性ポリマー粒子が5質量%未満の湿分含有率を有し、かつ20,000倍に拡大した場合、目に見える亀裂を粒子表面に示す非凝集吸水性ポリマー粒子。

【請求項12】

前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $100 \times 10^{-7} \text{ cm}^3 \text{ s} / \text{ g}$ の液体誘導性及び60秒未満のVortex法による吸収速度(Vortex)を有する、請求項11記載のポリマー粒子。

【請求項13】

前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $15 \text{ g} / \text{ g}$ の遠心分離保持容量を有する、請求項11又は12記載のポリマー粒子。

【請求項14】

前記重合したモノマーi)が、重合したアクリル酸である、請求項10から13までのいずれか1項記載のポリマー粒子。

【請求項15】

請求項10から14までのいずれか1項記載の吸水性ポリマー粒子を含む衛生用品。